

日進市立日進北中学校保護者各位

日進市教育委員会 教育長 吉 橋 一 典
日進市立日進北中学校長 渡 邊 宏

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

初秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

見出しの調査は、3年生の生徒を対象として、国語・数学・理科について、その学力の一部を「知識」「活用」といった観点から調査したものです。また、生徒の学習意欲や生活習慣等についても、質問紙によって調査を行いました。この度、市全体と各学校の傾向をまとめましたので、その概要をお知らせいたします。基礎・基本の一層の徹底を図るとともに、調査結果を今後の学習指導に生かしていきたいと考えております。ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1 日進市全体の結果について

国語、数学、理科とも「知識に関する問題」（A問題）の方が「活用に関する問題」（B問題）より平均正答率が高くなっています。また、全国・愛知県の結果より、各教科ともに平均正答率が高くなっています。

(1) 国語

どの領域・観点においても学力の十分な定着がみられます。特に、登場人物の言動や場面の展開などの描写について、内容を理解する能力に優れています。その一方で、「目的に応じて内容を整理して書く」能力に課題があります。文の成分や順序、構成を考えてまとめる学習活動に取り組んでいきます。

さらに学力を定着させるためにはどのような方策・工夫が必要であるか、各学校での分析・研究を通して、より良い教育活動につなげていきます。

(2) 数学

どの領域・観点においても学力の十分な定着がみられます。特に、基本的な計算技能、方程式の解法、関数の基礎の理解について優れています。今後も、さらに基礎、基本的な知識・技能の定着をはかっていきます。

その一方で、「数学的な考え方」の領域への取り組みに課題があります。具体的には、「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明する」能力です。優れた能力を生かし、情報を整理して言葉、数、式を用いて考え、説明する活動を充実させ、見方や考え方を深めることができるような学習活動に取り組んでいきます。

(3) 理科

すべての分野、観点において高い定着がみられますが、地学的領域の正答率が他の領域の正答率と比べて若干下がります。今後は、観察や実験を通していくつかの事象を関連付けて、科学的な思考・表現をする力と自分の考えを文で記述（表現）する力を身に付けていけるよう学習の工夫を行っていききたいと考えています。

(4) 生活面

自己肯定感が高く、「学校の規則を守る」など規範意識を大切にしている割合が高くなっています。さらに「人の役に立つ人間になりたい」と感じている生徒の割合も高くなっています。また、授業の予習、復習に力を入れて学習習慣が身に付いています。今後も学校生活をより充実させていく取組を学習・行事を通して進めていきたいと考えています。

地域・社会の問題や出来事に関心をもって、地域の行事に参加している生徒の割合は高い傾向がみられます。また、ボランティア活動に参加した経験がある生徒の割合も高くなっています。この点を生かし、教育活動の中で地域との交わり、連携する場を増やしていきたいと考えています。